

事務事業評価表

○基礎情報

課名		スポーツ推進課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	14	いつでも気軽にスポーツができ、心とからだを健康にできる環境をつくる	大川 哲裕	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				1 人	13 人	0 人	0 人	1 人	5,497 時間	35.2 時間

※28年度まではスポーツ健康課

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画 の現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
市営体育施設の利用者数	541,602人	606,000人	598,250人	541,602人	545,456人	623,808人
※健康事業への参加者数(29年度より保健所に移管)	1,580人	1,700人	1,541人	1,580人	1,656人	1,684人

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業
- ・ 実績 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった
なし

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名 (※は29年度より 保健所に移管)	事務事業の目的・目指すべき成果 何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ (手段)、どうしたいか(生まれる成果)	事業の 性質	実績			従事 者数	会計 区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28 業棚 選定
				業務 計画	広域 連携	行革 重点								
1	(仮称)柳島スポーツ 公園整備及び維持 管理・運営事業	・総合競技場、多目的広場、テニスコート等の広域的なスポーツ・レクリエーション拠点としての整備を行う。 ・周辺の自然環境と調和した緑地整備、災害時の広域避難場所としての機能を有する施設整備を行う。 ・PFI事業により民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用する。	政策的事業	●		●	4.12	一般	1,060,614,000	事業の進捗状況	建設工事の実施	建設工事の実施	S	
									----- 1,056,614,121					
1-2								繰越	253,419,000					
									----- 253,209,600					
2	屋内温水プールの 管理・運営	指定管理者である(株)東京アスレティッククラブとの協議を随時行うとともに、適切な管理に対する指導を行い、市民サービスの向上を図る。	政策的事業	●		●	0.18	一般	61,208,000 ----- 58,732,051	モニタリングによる実地調査回数	4回	4回	S	
3	体育館の管理・運営	指定管理者である(財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団との協議を随時行うとともに、適切な管理に対する指導を行い、市民サービスの向上を図る。	政策的事業	●		●	0.25	一般	115,372,000 ----- 115,086,994	モニタリングによる実地調査回数	4回	4回	S	●
4	体育施設の管理・運営	指定管理者である(財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団との協議を随時行うとともに、適切な管理に対する指導を行い、市民サービスの向上を図る。	政策的事業	●			0.61	一般	328,753,000 ----- 301,311,738	モニタリングによる実地調査回数	4回	4回	S	●
5	※歯科保健事業						0.22	一般	-----	イベントの来場者数	210人			

6	※食育推進計画の推進					0.25	一般		計画の進行管理	前年度事業評価			
7	※食育推進事業		●			0.52	一般		講座開催数	3回			
8	※健康増進計画の推進		●			0.81	一般		計画の進行管理	前年度事業評価及び計画の改訂			
9	※健康教育事業					2.45	一般		教室の開催回数	88回			
10	ジュニアスポーツ事業への負担	子どもを対象としたスポーツ事業を実施し、青少年のスポーツ活動の普及・奨励を図り、スポーツの楽しさを体験してもらう。	定例・定型的事業			0.06	一般	100,000 12,000	開催種目数	1回	1回	S	
11	スポーツ振興基本計画の推進	いつでも気軽にスポーツができ、心とからだを健康にできる環境をつくる。	定例・定型的事業			0.26	一般	160,000 200,000	計画の進行管理	前年度事業評価	前年度事業評価	S	
12	各種体育大会等の開催	市民の健康の保持増進及び体力の向上を図るため、市総合体育大会、各種事業等を開催し、スポーツに親しむ機会を提供する。	定例・定型的事業	●		1.09	一般	5,859,000 5,815,617	市総体・各種大会等開催回数	48回	48回	S	
13	各種大会等選手役員派遣事業	かながわ駅伝競走大会に選手・監督を派遣するとともに全国大会等に出場する選手・監督に祝金を交付し、市民のスポーツ水準の向上を図る。	定例・定型的事業			0.74	一般	1,395,000 1,320,764	出場祝金交付件数	103回	103回	S	
14	学校体育施設開放事業	スポーツ活動に対する欲求の高まりやスポーツ施設の不足などの地域住民の要望に応えるため、学校教育に支障がない範囲で学校の体育施設の効果的な利用を推進する。	定例・定型的事業	●		1.02	一般	32,032,000 29,580,710	小中学校開放校数	23校	23校	S	
15	関係団体への助成	スポーツ推進を図るため、体育協会等6団体の事業に対し、補助金を交付する。	定例・定型的事業			0.25	一般	2,240,000 2,239,200	補助団体数	6団体	6団体	S	
16	神奈川県体育施設協会に係る事務	県下の社会体育施設と相互に情報交換や研究協議を行うことにより合理的な施設管理、管理技術の向上を図る。	定例・定型的事業			0.04	一般	6,000 6,000	会議参加回数	2回	2回	S	
17	総合型地域スポーツクラブの育成	総合型地域スポーツクラブの継続活動に向けて、既存の活動団体の支援を行うとともに、市民への周知を図るため、啓発活動を行う。	定例・定型的事業			0.12	一般	0 0	広報紙への掲載回数	8回	6回	A	
18	茅ヶ崎市スポーツ推進委員に係る事務	スポーツ推進に必要な指導者を育成するため、研修会や講習会等を開催し、指導者としての資質の向上を図る。	定例・定型的事業			0.27	一般	4,964,000 4,578,121	スポーツ推進委員数	97人	87人	S	
19	※栄養改善事業					0.96	一般		栄養改善教室参加者数	410人			

20	災害応急対策活動	-	定例・定型的事業				0.33	一般	0 ----- 0	-	-	-		
21	庁内共通事務	-	定例・定型的事業				0.28	一般	10,000 ----- 84,914	-	-	-		
合計							14.84	予算 決算 繰越	1,866,132,000 ----- 1,575,582,230 ----- 253,209,600					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>スポーツ推進課(平成28年度はスポーツ健康課)の平成28年度における事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」及び健康づくり担当の6事業を除き、13の事業がある。指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、もっとも多かった評価は、「S」の12事業であり、次いで「A」が1事業となっている。課内の事務として、スポーツ担当は、(仮称)柳島スポーツ公園整備事業のパブリックコメントや条例制定作業など事務作業が多かったほか、茅ヶ崎公園庭球場移転工事や本市からリオデジャネイロオリンピックに出場した選手の壮行会や報告会を実施するなど、通常外の事業が多かったが、時間外勤務時間は必要最低限に抑えられたと認識している。</p> <p>健康づくり担当は、健康増進計画の改定作業のほか、10月の人事異動に伴い保健師が1名減となったが、担当事務の見直しにより、当初計画のとおり事業を実施した。</p> <p>事務事業費については、自主財源の確保に努め、茅ヶ崎公園庭球場移転工事では、本市としては初めて、スポーツ振興くじ助成金を申請し、32,900,000円が交付された。また、体育館及び体育施設の管理・運営では、指定管理者がこれまで培った経験をもとに、公益財団という特性を活かし、指定管理料と利用料収入を最大限に利用者へ還元するため、施設修繕等を行った。また屋内温水プールにおいては、28年4月より指定管理者を公募したことにより、市が提示した指定管理料より、4年間で約12,000,000円削減されたほか、事業者の提案により、収支差額が発生した場合は、地域貢献の観点からその差額の50%を市に還元する提案がされており、28年度は2,459,686円還元された。</p> <p>職員の時間外勤務においては、総時間外勤務が5,497時間、一人あたりに換算すると月平均35時間であった。当課の業務は、イベント事業や所管施設管理等による突発的な対応のほか、関係団体との協議が時間外での対応となるため、担当者によっては時間外勤務が多くなってしまうことがあるため、非常勤嘱託職員の活用のほか、土日祝日の交代勤務の次年度からの廃止に取り組むなど、業務の分散化や職員の負担軽減を図ることとした。</p> <p>業務量が常に増加傾向にある中で、引き続き事業の見直し(業務棚卸、スクラップ)を心がけ、職員の業務負担の軽減を図り、ワークライフバランスを進めていく。</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
3	体育館の管理・運営	公益財団という団体の特性を示し、指定管理料と利用料収入を最大限に利用者へ還元してもらうため、積年の課題であった各種施設修繕の実施を促した。
4	体育施設の管理・運営	公益財団という団体の特性を示し、指定管理料と利用料収入を最大限に利用者へ還元してもらうため、積年の課題であった各種施設修繕の実施を促した。平成28年度利用者に還元できなかった指定管理料については、29年度の施設改善に充ててもらうことになった。

5 新たな行政改革重点推進事業(本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます)

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-